

FUJIFILM Sonosite 社製シ ステムと CIVCO 製品の併用

ユーザーガイド

SonoSite Edge、M-Turbo、S Series、SonoSite SII、SonoSite X-Porte、MicroMaxx、NanoMaxx、TITAN、および SONOSITE ロゴは複数の法域において FUJIFILM, Inc. の商標または登録商標です。FUJIFILM は、複数の管轄区域において FUJIFILM Corporation の登録商標です。Value from Innovation は、FUJIFILM Holdings America Corporation の商標です。CIVCO は CIVCO Medical Solutions の登録商標です。Infiniti は、CIVCO Medical Solutions の商標です。DICOM は National Electrical Manufacturers Association の登録商標です。その他の商標は全て、それぞれ所有権を有する各社に帰属します。

特許：www.sonosite.com/patents



P02177-09

発行日：Oct 25, 2023

Copyright © 2023 FUJIFILM SonoSite, Inc. All rights reserved.

FUJIFILM Sonosite 社製システムと CIVCO 製品の併用

はじめに	1
ニードルガイド	2
穿刺手技の準備	5
穿刺針の刺入経路の検証	6
穿刺手技	11
ガイドラインの使用	11
洗浄および消毒	13
温度および湿度条件	13

はじめに

本書は CIVCO 社が発行するリファレンスガイドとご併読ください。

- 本書は各スターターキットに同梱されており、超音波画像診断装置の設定方法、および使用前に実施するニードルガイド使用時の刺入経路の検証方法についてご説明します。
- CIVCO 社のリファレンスガイドは、ブラケットおよびニードルガイドの装着手順、洗浄・消毒の手順、本書に記載以外の安全情報、およびラベル表示について説明しています。同リファレンスガイドは、各スターターキットおよび交換キットに同梱されています。

ブラケットとニードルガイドを超音波画像診断装置と併用する前に、両方のユーザードキュメントをお読みください。これらの文書は共に超音波画像診断装置の操作および、血管穿刺またはその他の侵襲的処置に精通した読者を対象にしており、超音波検査や血管穿刺手技、臨床手技の訓練を目的にはしていません。



警告

超音波画像診断装置およびニードルガイドを使用する前に、ユーザーは超音波画像診断装置とプローブの使用方法に加え、現行の関連する医療習慣に従った適切なインターベンション手技を習熟していなければなりません。血管穿刺中、次に挙げる重篤な合併症およびその他の合併症が発生する恐れがあります：気胸、動脈穿刺、ガイドワイヤの配置ミス、局所または全身麻酔および回復に伴う一般的なリスク。これらは一部の例を挙げるものであり、すべてではありません。

ニードルガイドが使用できる超音波画像診断装置は以下のとおりです。

超音波画像診断装置 Sonosite PX シリーズ	超音波画像診断装置 Sonosite ST シリーズ
超音波画像診断装置 SonoSite X-Porte シリーズ	超音波画像診断装置 SonoSite Edge II シリーズ
超音波画像診断装置 SonoSite SII シリーズ	超音波画像診断装置 SonoSite Edge シリーズ
超音波画像診断装置 SonoSite S シリーズ	超音波画像診断装置 SonoSite M シリーズ
超音波画像診断装置 SonoSite MicroMaxx シリーズ	超音波画像診断装置 SonoSite NanoMaxx シリーズ
超音波画像診断装置 SonoSite TiTAN シリーズ	F C シリーズ
超音波画像診断装置 SonoSite iLook25 シリーズ	超音波画像診断装置 SonoSite 180 シリーズ

超音波画像診断装置およびプローブの使用法、並びに安全性および使用目的に関しては、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

表記規則

本書では下記の表記規則に従っています。

-  **警告**は、負傷や死亡の事故を防ぐために必要な注意事項について示します。
-  **注意**は、製品を保護するために必要な注意事項を示します。
-  **注**は、補足説明です。
- 特定の順番に実行する必要がある手順は、行頭に番号またはアルファベットで示しています。
- 中点 (・)は情報を箇条書きしたものであり、手順を示すものではありません。

サポート

- FUJIFILM Sonosite テクニカルサポート

アメリカ合衆国およびカナダ	+1 877-657-8118
その他の地域	+1 425-951-1330 にお電話ください。または最寄りの販売代理店にお問い合わせください。
ファックス	+1 425-951-6700
Eメール (アジア)	ffss-service@fujifilm.com ffss-apacme-service@fujifilm.com
ウェブページ	www.sonosite.com
富士フイルムメディカル株式会社	
電話：(日本国内)	03-6419-8050
ファックス：(日本国内)	03-6418-6596

CIVCO リファレンスガイドに関するご質問ご意見は CIVCO Medical Instruments へご連絡ください。
www.civco.com 電話 (米国内)：(800) 445-6741 または最寄りの販売代理店までご連絡ください。

ニードルガイド



警告

- 機器の損傷または患者の負傷を防止するため、P10、P10x、P10xp、P17、rP19x、rP19xp、P21x、または P21xp 用ニードルガイドブラケット をペースメーカーまたは植込み式医用電子機器を装着する患者には使用しないでください。これらのプローブに装着可能なニードルガイドブラケットには、プローブへの正しい装着を確実にするために磁石が装備されています。磁場をペースメーカーまたは植込み式医用電子機器を接近させると有害な影響を及ぼすおそれがあります。
- 超音波画像診断装置に搭載されている穿刺ガイドラインのソフトウェアは、CIVCO Infiniti Needle Guidance システムには対応していませんので併用しないでください。

ニードルガイドは穿刺針誘導の援助をします。解剖学的標的のエコーおよび穿刺針が超音波画像診断装置の画面に表示され、標的の部位に到達するよう穿刺針を誘導するのに役立ちます。

ニードルガイドが使用可能なプローブを超音波画像診断装置に接続すると、ニードルガイド制御が可能になり、予測される刺入経路を表す2本のガイドラインが画面上に表示されます。ガイドラインおよび深度カーソルを目安に穿刺針を誘導していくことができます。 [ガイドラインを表示する \[12\]](#)を参照してください。

ガイドラインは、ニードルガイドを装着したブラケットを使用している場合にのみ使用することを意図しています。



注意

センターライン表示機能が有効になっている場合はガイドラインは表示されません。センターラインはプローブのセンターマーク（プローブに記されている場合）と一致し、画像の中心位置の参照となります。センターラインはニードルガイドブラケットまたはブラケットに関連するガイドラインとの使用を意図していません。センターライン表示機能については、超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

下表はニードルガイドが使用可能なプローブの一覧です。使用可能なニードルガイドは数種類あります：固定アングル、マルチ固定アングル、可変アングル、横手（短軸）方向アングル。

表 1：超音波画像診断装置とプローブの互換性

プローブ	F Cシリーズ	X-Porte シリーズ	Edge シリーズ	Edge II および SII シリーズ	S シリーズ	M シリーズ	MicroMaxx シリーズ	NanoMaxx シリーズ	Titan および 180PLUS	iLook 25	PX および ST シリーズ	PX シリーズ ZX モデル
C5-1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓
C8	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
C8e	—	—	✓	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
C8x	—	—	✓	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—
C10-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—
C35xp	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C60	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
C60e	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
C60x	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—
C60xf	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C60xi	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—
C60xp	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
rC60xi	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—
HFL38	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
HFL38x	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—
HFL38xi	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—
HFL38xp	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
HFL50x	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	—

プローブ	F Cシリーズ	X-Porteシリーズ	Edgeシリーズ	Edge II および SIIシリーズ	Sシリーズ	Mシリーズ	MicroMaxxシリーズ	NanoMaxxシリーズ	Titan および 180PLUS	iLook 25	PX および STシリーズ	PXシリーズ ZX モデル
HFL50xp	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
IC10-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓
ICT	—	—	—	—	—	—	✓	—	✓	—	—	—
ICTx	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	—
ICTxp	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L12-3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓
L15-4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓
L19-5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓
L25 ^a	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	✓	—	—
L25e ^a	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
L25n ^a	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—
L25x ^a	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	—
L25xp ^a	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L38	—	—	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—
L38e	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
L38x	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—
L38xi	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	—
L38xp	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
P10	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
P10x	—	—	✓	✓	✓	✓	—	—	—	—	—	—
P10xp	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
P17	—	—	—	—	—	—	✓	—	—	—	—	—
rP19x	—	—	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—
rP19xp	—	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
P21x	—	—	✓	—	✓	✓	—	—	—	—	—	—
P21xp	✓	✓	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

^aL25 プローブシリーズのスターターキットには、複数のゲージおよび長さに対応する複数の滅菌ニードルガイドが梱包されています。18ゲージまたは21ゲージの針を使用してください。標的深度に達するのに必要な針の長さを決定するには、CIVCOのリファレンスガイドを参照してください。詳細はCIVCOウェブサイト www.civco.com を見てください。



注意

センターライン表示機能が有効になっている場合はガイドラインは表示されません。センターラインはプローブのセンターマーク（プローブに記されている場合）と一致し、画像の中心位置の参照となります。センターラインはニードルガイドブラケットまたはブラケットに関連するガイドラインとの使用を意図していません。センターライン表示機能については、超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

穿刺手技の準備



警告

感染リスクを防止または低減するため、

- FUJIFILM Sonosite または CIVCO が承認したニードルガイド、ブラケット、供給品、コンポーネントおよびアクセサリのみを使用してください。他社の製品は FUJIFILM Sonosite プローブに正しく装着できないことがあります。
- **ニードルガイド [2]**に記載の超音波画像診断装置およびプローブに対応するニードルガイドのみを使用してください。お手元の超音波画像診断装置とプローブの組み合わせに互換性のあるニードルガイドに関するご質問がある場合はお問い合わせください。
- ブラケットが正しく装着されていることを確認してください。該当する CIVCO のリファレンスガイドを参照してください。
- マルチアングルブラケットを使用する場合は、ブラケットと超音波画像診断装置のアングル設定 (A、B、または C) が同一であることを確認してください。
- 画面上に描出される針の画像のみを信頼しないでください。触感やその他の視覚的参照情報をもとに、針先が血管壁に達しているか、血管腔に入っているかの判断をしてください。(例：前壁の凹み、血管腔へ通過した際の抵抗の減少、または針腔内への血液の逆流等)
- インターベンション手技を行う際は、万全の予防措置を取ってください。



警告

プローブカバーの中には、天然ゴムラテックスやタルクを含むものがあり、個人によってはアレルギー反応を惹起することがあります。天然ゴムラテックスは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショック等のアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施してください。FUJIFILM Sonosite はラテックスおよびタルクに敏感な患者を特定し、迅速にアレルギー反応に対する処置を施すことを推奨します。

1. 全ての部品を点検し、損傷がないことを確認します。
2. 使用するプローブに対応している正しいブラケットを使用していることを確認します。
P17、rP19 シリーズ、および P21 シリーズのプローブ用ブラケットの寸法および / または形状は類似しています。(P21 シリーズのプローブ用ブラケットには「P21」の印が、rP19 シリーズのプローブ用ブラケットには「P19」の印があります。)
3. ブラケットが正しく装着されていることを確認してください。
 - ブラケットがしっかりと固定されていることを確認してください。カチッと音がするまで押し付けてください。
 - L38xi 用、L38xp 用、C60xf 用、C60xi 用、rC60xi 用、および C60xp 用マルチアングルブラケットを使用の場合は、ブラケットで選択したアングルと超音波画像診断装置で設定したアングルが一致していることを確認してください。システム設定に関しては、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。
4. 穿刺針の刺入経路を確認します。 **穿刺針の刺入経路の検証 [6]**を参照してください。

5. 本書に記載の **警告** および **注意** に加え、以下の予防措置を取ってください。
- ニードルガイドは必ず滅菌プローブカバーの上から取り付けてください。
 - 体腔内生検のための解剖学上検査を、ニードルガイドを装着した状態で行うことは推奨しません。
 - 時には穿刺針が画像上に可視化されないことがあることに注意してください。手技前に、深度マーカーを使って対象部位の深度を判断します。それを穿刺深度の目安にしてください。
 - 各手技毎に新品のまっすぐな穿刺針および新品のニードルガイドを使用してください。
 - ブラケットおよびニードルガイドの装着方法に関する情報は、CIVCO のリファレンスガイドを参照してください。
 - 手技に関する追加の情報は、CIVCO のリファレンスガイドを参照してください。



警告

プローブカバーの中には、天然ゴムラテックスやタルクを含むものがあり、個人によってはアレルギー反応を惹起することがあります。天然ゴムラテックスは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショック等のアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施してください。FUJIFILM Sonosite はラテックスおよびタルクに敏感な患者を特定し、迅速にアレルギー反応に対する処置を施すことを推奨します。

穿刺針の刺入経路の検証

手技を開始する前に、針の刺入経路を検証し、超音波画像診断装置上のガイドラインとプローブ、ニードルガイドの関連性が正しいことを確認してください。



注

本手順は Sonosite システムでのガイドライン表示機能に対応しているニードルブラケット（in-plane 固定アングル、マルチ固定アングル、可変アングル、out-of-plane 横手（短軸）方向アングル。）にのみ適用されます。



警告

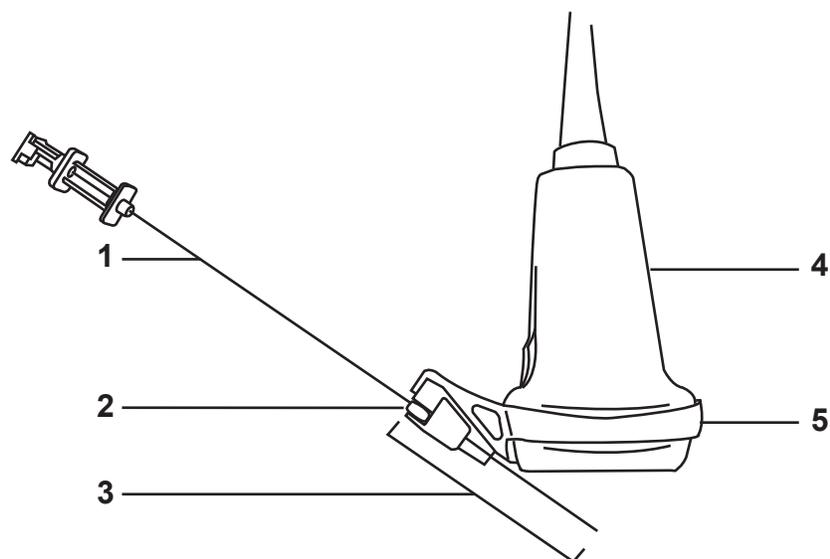
患者の負傷を防止するため、以下の事項を守ってください。

- 針の刺入経路を検証する前に、全てのコンポーネントを点検し、破損がないことを確認してください。
- 刺入経路の検証には、毎回必ず新品のまっすぐな穿刺針を使用してください。
- 穿刺針が意図する刺入経路をたどらない場合には、当該ニードルガイドは使用しないでください。
- 刺入経路検証に使用した穿刺針は実際の臨床手技には使用しないでください。手技には毎回必ず新品の滅菌穿刺針およびニードルガイドを使用してください。

穿刺針の刺入経路検証には下記の器具が必要です。

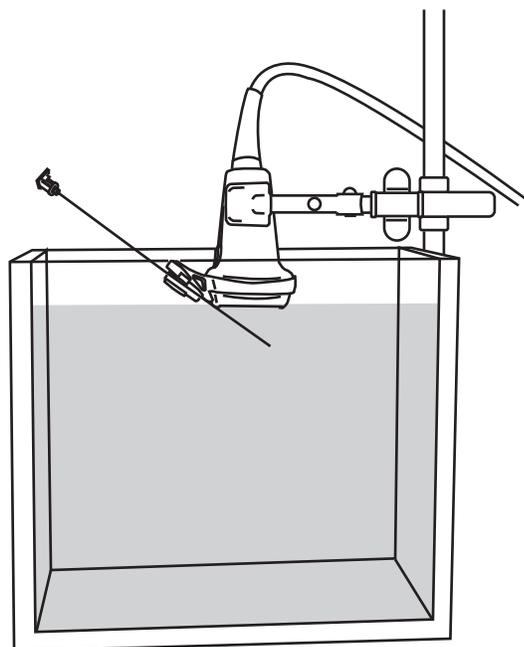
- ニードルガイドが使用可能なプローブ
- ブラケット（再使用可能。ブラケットの種類はプローブによって異なります。）
- ニードルガイドキット（単回使用）
- 新品のまっすぐな穿刺針
- 超音波画像診断装置
- 試験用溶液 (All World Scientific code 3480)または蒸留水を入れた水槽

図1 ブラケット、ニードルガイド、および穿刺針を装着したプローブ



1. 針 2. ニードルガイド刺入部 3. 深度カーソルの測定深度 4. プローブ 5. ブラケット

図2 ニードルを装着したプローブを検証用の溶液内に設置した状態



1. プローブ、ニードルガイド、およびブラケットをそれぞれ点検し、破損がないことを確認します。

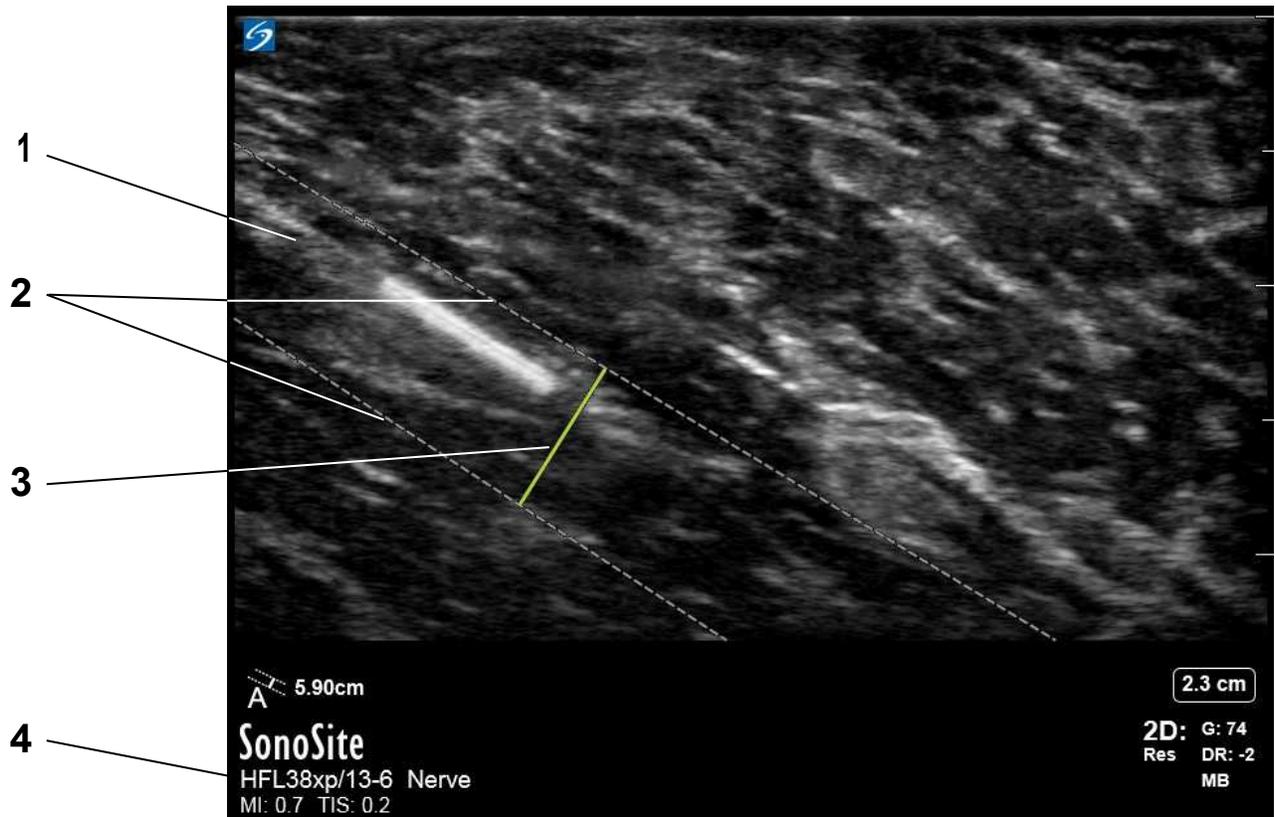
2. プローブにブラケットを取り付け、針のケージに適切なニードルガイドを装着します。適切な CIVCO のリファレンスガイドを参照してください。
3. 水槽およびプローブをセットアップし、ニードルガイドに針を挿入します。
4. プローブを超音波画像診断装置に接続し、電源をオンにします。
5. プローブを試験用溶液（または蒸留水）内に 6.35～12.7 mm まで浸漬します。12.7 mm 以上深く浸漬しないでください。
6. ガイドライン表示機能を有効にします。 [ガイドラインを表示する \[12\]](#)を参照してください。
7. 超音波画像診断装置の画面上に穿刺針が描出されるまで、穿刺針を試験用溶液または蒸留水内へ突き出していきます。
8. 画面上の穿刺針が 2 本のガイドラインの間を通過していることを確認します。



警告

- ガイドラインは予測される刺入経路を表示することのみを意図しています。機械的許容差や針の柔軟性等の要因により、針の刺入経路が予測される経路を外れることがあります。
- 患者の負傷を防止するため、針が予想しない方向から画面に描出された場合、ニードルガイドおよびブラケットが正しく装着され、プローブの向きが正しいことを確認してください。
- 確認後も可視化された針が 2 本のガイドラインの間を通過しない場合は、当該ニードルガイドは使用しないでください。FUJIFILM Sonosite または最寄りの販売業者までご連絡ください。

図3 マルチアングルおよび固定アングルの in-plane ガイド



1. 刺入経路
2. ガイドライン
3. 深度カーソルの測定深度
4. プローブと検査種類



超音波画像診断装置上に表示される深度カーソル測定値は、針がニードルガイドに挿入される部分から針先までの距離を示します。

図 4 out-of-plane ガイド



警告

- ガイドラインは予測される刺入経路を表示することのみを意図しています。機械的許容差や針の柔軟性等の要因により、針の刺入経路が予測される経路を外れることがあります。
- 患者の負傷を防止するため、針が予期しない方向から画面に描出された場合、ニードルガイドおよびブラケットが正しく装着され、プローブの向きが正しいことを確認してください。
- 確認後も可視化された針が2本のガイドラインの間を通過しない場合は、当該ニードルガイドは使用しないでください。FUJIFILM Sonosite または最寄りの販売業者までご連絡ください。

穿刺手技



警告

患者の負傷を防止し、感染リスクを低減するために以下の事項を守ってください。

- 穿刺を行う前に、針の刺入経路の検証がすでに実施されたことを確認してください。
- 穿刺には毎回新品のまっすぐな滅菌穿刺針を使用してください。
- 再使用可能なニードルガイドは、使用後毎回滅菌する必要があります。
- 細い針は組織を穿刺する際に曲がる場合があります。実際の針の位置は針のエコーを識別することによって確認してください。
- 手技中にブラケットやニードルガイドが破損したり、穿刺針が折損した場合、すべての破片が回収されたことを確認してください。
- 対象部位において穿刺針が描出（可視化）されていない場合、正しいニードルガイドが選択されていること、およびブラケットとニードルガイドがしっかりと正しく取り付けられていることを確認してください。



注意

プローブの損傷を防止するため、FUJIFILM Sonosite が奨励するジェルのみを使用してください。推奨されていない超音波ジェルを使用すると、プローブを損傷し、保証が無効になることがあります。超音波ジェルの適合性について不明な点がある場合は、FUJIFILM Sonosite または最寄りの販売業者までお問い合わせください。

本書に記載の**警告**および**注意**に加え、手技中には以下の予防措置を取ってください。

- 適切な音響カップリングが得られるように、必ず超音波ジェルを使用してください。プローブと身体の間には超音波ジェルをたっぷり使用してください。大部分のジェルには適切な超音波伝播性能が備わっていますが、一部、プローブの材料と適合性のないジェルがあります。ニードルガイドキットには、Aquasonic ジェルのサンプルが同梱されています。
- 針を使用した手技を行う場合は、滅菌ジェルを使用してください。
- ガイドラインは予測される刺入経路を表示することのみを意図しています。実際の針の位置は針のエコーを識別することによって確認してください。

ガイドラインの使用



警告

Zoom（拡大表示）または Dual（2画面表示）モードでガイドラインおよび深度インジケータを使用しないでください。Zoom または Dual モードでは、重要な体内構造や参照部位が不鮮明になります。

針の刺入を誘導援助するガイドライン表示機能はオプションです。使用するプローブによって使用できない場合もあります。

ガイドラインを表示する

1. 超音波画像診断装置上で、適切な検査種類を選択します。
2. 画像を最適化します。
3. 2D モード画像を表示し、下記いずれかの操作を行います。
 - (Sonosite PX シリーズ (PX モデル、LX モデル、ZX モデル)、Sonosite ST シリーズ) **Needle Guide** をタップします。同制御ボタンが表示されていない場合には、+ **More Controls** をタップすると表示できます。
 - (SonoSite X-Porte) **Needle Guide** をタップし、次に **On** をタップします。同制御ボタンが表示されていない場合には、**More Controls** をタップすると表示できます。Zoom (拡大表示) または Dual (2 画面表示) モードではガイドラインは表示できません。
 - (M シリーズ、S シリーズ、SonoSite Edge、SonoSite Edge II、SonoSite SII) スクリーンメニューから **Guide** を選択します。
 - (180PLUS) **TEXT/PICTO** キーを押します。ボディーマーカが非表示の場合、Biopsy アイコンを選択してガイドラインを表示します。ボディーマーカが表示されている場合には、Forward アイコンを選択し、次に Biopsy アイコンを選択します。
 - (FC シリーズ) タッチスクリーンで **Needle Guide** をタップします。
 - (その他の FUJIFILM SonoSite 超音波画像診断装置) スクリーンメニューから **Biopsy** または **Guide** を選択します。
4. 超音波画像診断装置の基本的な操作に関しては、該当する超音波画像診断装置のユーザーガイドを参照してください。

深度カーソルを移動する

以下のどちらかの操作をします。

- (Sonosite PX シリーズ (LX モデル)) 横手 (短軸) 方向アングルブラケットを使用の場合、モニタのタッチスクリーンまたは深度制御ボタンを使用して深度を変更します。変更に応じて、クリニカルモニタ上の穿刺針の深度インジケータは調整されます。
- (Sonosite PX シリーズ (PX モデル、ZX モデル) out-of-plane 横手 (短軸) 方向アングルブラケットを使用の場合、深度制御ボタンを使用して深度を変更します。変更に応じて、クリニカルモニタ上の穿刺針の深度インジケータは調整されます。
- (Sonosite ST シリーズ) 横手 (短軸) 方向アングルブラケットを使用の場合、タッチスクリーンの深度調整ボタンを使用して深度を調整します。変更に応じて、クリニカルモニタ上で針の深度インジケータが更新されます。
- (SonoSite X-Porte シリーズ) 指で制御パネル上の深度カーソルをドラッグします。
- (SonoSite S シリーズ、SonoSite SII シリーズ) **Depth** つまみを回します。
- (SonoSite Edge シリーズ、SonoSite Edge II シリーズ) ボタンを押して深度を調整します。
- (SonoSite 180PLUS シリーズ) トラックボールを使用します。ボディマークが表示されている場合は、戻るアイコンを押して以前のメニューに戻ります。

標的距離計測値は、針刺入部から深度カーソルまでの距離を示し変化します。針刺入部とは針がニードルガイドまたはニードルインサートに挿入される部分を意味します。図 1「ブラケット、ニードルガイド、および穿刺針を装着したプローブ」 [7] を参照してください。

マルチアングルブラケットの角度を選択する

ニードルガイドの機能を有効にし、以下どちらかの操作をします。

- (Sonosite X-Porte シリーズ) Tap **Guide A**、**Guide B**、または **Guide C** をタップします。
- (その他の FUJIFILM SonoSite 超音波画像診断装置) **A**、**B**、または **C** を選択します。

ニードルガイドを消去する

以下のいずれかの操作をします。

- (Sonosite PX シリーズ (PX モデル、LX モデル、ZX モデル)、Sonosite ST シリーズ) **Needle Guide** 制御をタップしオフにします。
- (SonoSite X-Porte シリーズ) 以下のどちらかの操作をします。
 - **Needle Guide** をタップし、次に **Off** (multi-angle) をタップします。
 - **Needle Guide** (single-angle) をタップします。
- (SonoSite M シリーズ、 SonoSite Edge シリーズ、 SonoSite Edge II シリーズ、 SonoSite S シリーズ、 SonoSite SII シリーズ) 以下のいずれかの操作をします。
 - **A**、**B**、または **C** (multi-angle) を再度選択します。
 - アングル選択画面を閉じ、**Guide** (multi-angle) を押します。
 - **Guide** または **Biopsy** (single-angle) を押します。

洗浄および消毒

洗浄、消毒、または滅菌を行う前に、該当する CIVCO のリファレンスガイドを参照してください。

温度および湿度条件

環境条件（輸送および保管時を含む）については、該当する CIVCO のリファレンスガイドを参照してください。

FUJIFILM

SONOSITE

一般的名称	汎用超音波画像診断装置 (40761000)		
医療機器のクラス	管理医療機器、特定保守管理医療機器		
販売名	Sonosite ST シリーズ	医療機器認証番号	305AABZI00052000
	Sonosite PX シリーズ (PX モデル, LX モデル, ZX モデル)		302ADBZI00086000
	SonoSite Edge II シリーズ		229ADBZI00008000
	SonoSite Edge シリーズ		224ADBZI00053000
	SonoSite M シリーズ		219ADBZI00197000
	SonoSite MicroMaxx シリーズ		218ADBZI00032000
	SonoSite TITAN シリーズ		21600BZG00002000

P02177-09

